

株式会社エフエムみしま・かなみ

放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和2年3月26日(木)
2. 開催場所 三島市大社町1-10 総合防災センター3階
3. 委員の出席
 - ①委員の総数 6名
 - ②出席委員数 6名
 - ③出席委員の氏名
岡山 一夫、中山 勝善、一藤木 秀光、藤吉智子、白井由美子、高田靖子
 - ④放送事業者側出席者
石野 壽雄(代表取締役)、岩本 亜希子(制作部) 遠藤 真里(総務部)
4. 議 題
 - 第1号議案 「富士山からのおくりもの」について
 - 第2号議案 次回開催日について 他
5. 議事の概要 「富士山からのおくりもの」について

報告内容 富士山が世界文化遺産に登録されてから7年。魅力いっぱいの富士山を後世に引き継ぐために富士山に関わりが深い方をゲストに迎え5回にわけてお話をお聞きしました。

- ・ 第1回 【歴史と文化】
静岡県富士山世界遺産センター 学芸課 大高康正さん
- ・ 第2回 【富士登山の魅力】
2060回登頂 Mr.富士山 實川欣伸さん
- ・ 第3回 【富士山からのめぐみ】
都留文科大学特任教授 富士山学 渡辺豊博さん
- ・ 第4回 【富士山測候所物語】
NPO法人富士山測候所を活用する会事務局長 鴨川仁さん
- ・ 第5回 【環境保全について】
NPO法人富士山クラブ 事務局長 青木直子さん

今回は第4回、富士山測候所ができるまでの経緯、現在の活用状況、気象予報と富士山のつながりについて教えていただきました。

6. 審議内容

第1号議案講評

エフエムみしま・かんなみの本年度第6回番組審議会が26日、三島市総合防災センターで開かれ、2月の富士山の日に合わせた特集番組「富士山からのおくりもの」(全5回シリーズ)について議論した。

番組は富士山に関わる5人のゲストで構成。対象としたのはこのうち、NPO法人富士山測候所を活用する会事務局長の鴨川仁・県立大特任准教授の放送回で、測候所の歴史、気象だけでなくさまざまな研究者がデータ収集を行っている現在の活用状況などを聞いた。

審議委員から「硬い内容だったが、わかりやすかった」とパーソナリティが市民目線で内容を引き出したことが高く評価された。

この特集番組では売り上げの30%を富士山保全協力金へ寄付した。

第2号議案 次回番組審議会の開催日程 令和2年5月を予定

7. 審議機関の答申又は改善に対してとった措置及びその年月日
特になし

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における
公表の内容、方法及び年月日

① 議事録などをファイルとして供覧

② エフエムみしま・かんなみの

3月27日(金)「パーサーの耳もと過ぎれば…」

3月28日(土)「WEEKEND ナチュラル♪」の時間内で放送

③ 静岡新聞に掲載 令和2年3月31日(火)の記事

9. その他の参考事項
特になし

株式会社エフエムみしま・かんなみ